

せとうち発見の道企画展

「竹田喜之助の作品づくり —新収蔵資料展—」

2024年9月3日～11月24日

於 瀬戸内市民図書館

協力：(公財)瀬戸内市歴史まちづくり財団

竹田喜之助(たけだ・きのすけ)は、瀬戸内市が生んだ世界的な糸あやつり人形師です。瀬戸内市では、喜之助の偉業を顕彰し、文化の振興を図るため、人形劇の祭典である「喜之助フェスティバル」・「喜之助人形劇フェスタ」が続けられてきました。

最近になって、遺族から喜之助の遺品が新たに瀬戸内市に寄せられ、整理が進められています。本展では、現在整理されつつある遺品の中から、デザイン画などの関係資料を紹介し、喜之助の作品づくりの一端に触れていただきます。

◆薬事新報社の週刊『薬事新報』に連載された喜之助人形の解説

1979年6月(1020号)から11月(1042号)まで合計21回、『薬事新報』の表紙写真に喜之助人形が使われ、喜之助自身が撮影、その解説を執筆しました。

喜之助の人形や人形劇に対する考えがうかがえる貴重な連載となりましたが、喜之助はこの年9月5日に亡くなっており、1035号以降の7回は「遺稿」として掲載されました。

「私の履歴書」

大正十二年 岡山県生れ、
本名 岡本隆郎、芸名 竹田喜之助。
佐渡の、のろま人形の木の助に因む。
(中略)旧制六高より東大工学部。そして、
糸あやつり竹田人形座と、やや回り道だが
以来三十年、人形を作り動かす。従って、
薬事新報の表紙に載せてもらう人形の写真
と説明が、本当の私の履歴書となる。

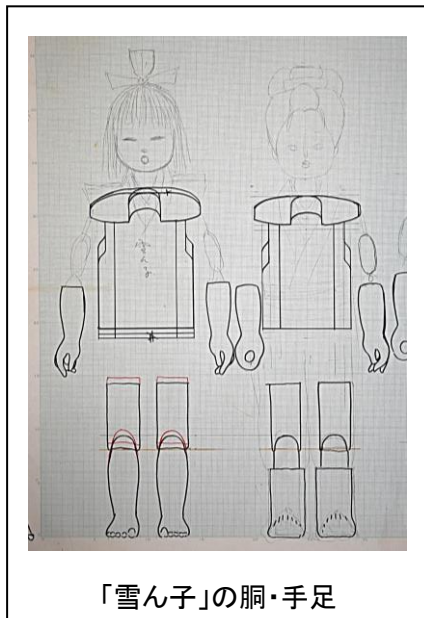
喜之助

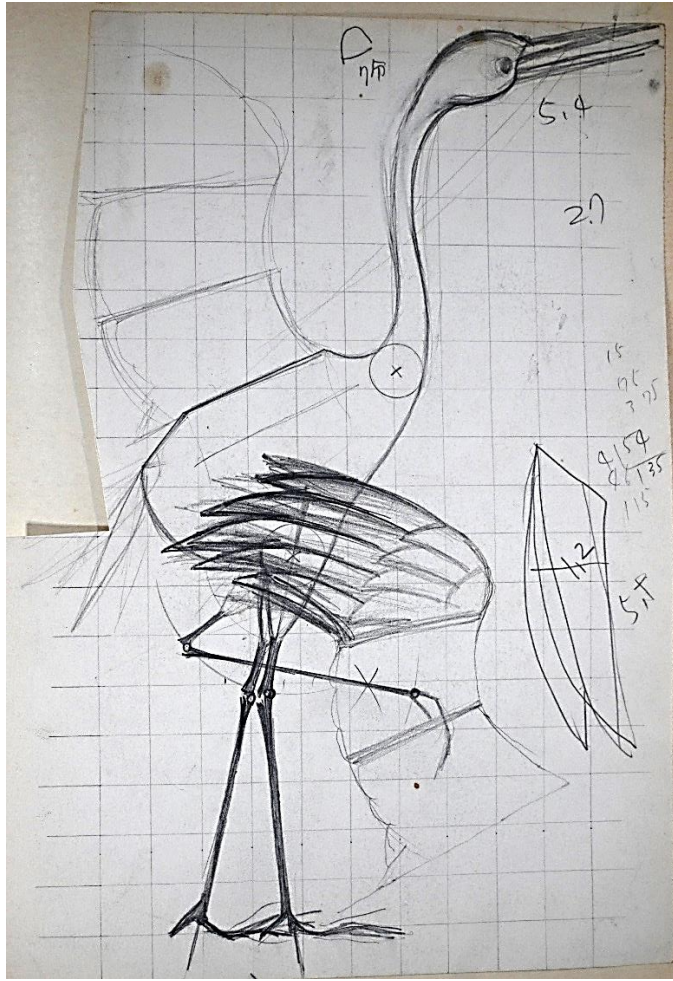


『薬事新報』No.1020(1979年6月7日)連載開始の際に掲載された文章(抜粋)

◆喜之助の人形デザイン

喜之助は人形製作にあたって、衣装を含めたデザインを描きましたが、中には、寸法や材質に関するメモを書き入れたもの、方眼紙に設計図のように描いたものなどがあります。

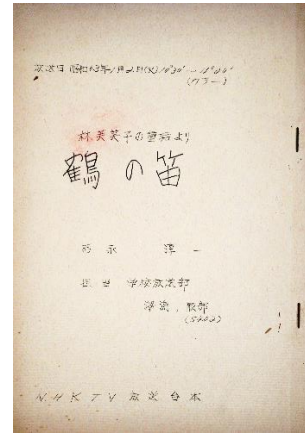




「鶴の笛」の鶴



「鶴の笛」の子ども



「鶴の笛」の台本



「鶴の笛」の撮影風景

【竹田喜之助関連年表】

- 1923年 6月27日 岡本隆郎（おかもと・たかお、後の竹田喜之助）は、岡山県邑久郡邑久村尾張（現瀬戸内市邑久町尾張）に生まれる。父巖雄、母多津恵の長男。岡本家は呉服商を営み、母多津恵は岡山県邑久高等女学校の教師だった。
- 1937年 邑久尋常小学校（現邑久町立邑久小学校）卒業。子どもの頃から絵や書、音楽などに親しむ。
- 1941年 岡山県立第一中学校（現岡山県立岡山朝日高等学校）卒業。
- 1943年 第六高等学校（現岡山大学）理科卒業。
東京帝国大学工学部航空工学科入学。大学では演劇部に所属。第二次世界大戦中、病氣療養のため郷里に戻る。終戦を契機として航空工学科は廃止された。
- 1950年 東京大学第二工学部機械工学科卒業。
結城孫太郎一座に入る。芸名は結城糸城三（ゆうきしきぞう）。一座は師匠夫婦と結城孫昌（後の竹田扇之助）、養女の4人だけだった。
- 1955年 結城孫太郎一座は竹田人形座となり、竹田喜之助と改名。
竹田人形座が東京都指定無形文化財になる。
- 1956年 「宝島」ハンズの首（かしら）が光風会工芸展に入選。
- 1957年 「雪ん子」が文部省芸術祭奨励賞を受賞。
- 1959年 「寿竹田三番叟」の首（かしら）一式が日本伝統工芸展に入選。
- 1961年 「喜之助人形展」（白木屋日本橋店/東京）開催。作家・安藤鶴夫の肝いりで開催した。安藤は「喜之助人形」の名付け親でもある。
- 1968年 竹田扇之助とともにヨーロッパ、アフリカ、アメリカ等の人形劇団を訪ねて親善公演を行う。以降、国際交流基金の援助を得て海外公演を行う。
- 1970年 大阪万博の住友童話館で「つる」を連日公演する（1442回）。
- 1972年 一座による第1回ヨーロッパ公演。
- 1975年 第2回ヨーロッパ公演。
- 1976年 第3回ヨーロッパ・ソビエト公演。第12回ウニマ大会と国際人形劇フェスティバルに招聘される。ユネスコ主催のパリ日本文化祭でも舞台公演を行う。
- 1977年 母校である邑久小学校で「橋弁慶」「雪ん子」を公演。
- 1979年 8月31日稽古の後、バイクで帰宅途中に自宅付近で交通事故に遭う。
9月5日逝去（享年56歳）。
- 1988年 第1回「人形劇の祭典～喜之助フェスティバル・邑久」開催。以降、毎年開催（邑久町、のち瀬戸内市）。2018年「喜之助人形劇フェスタ」に名称変更。
- 1990年 日本ウニマ（国際人形劇連盟日本センター）名誉会員となる。
- 1991年 邑久町名誉町民（現瀬戸内市名誉市民）となる。
- 1992年 ウニマ（国際人形劇連盟）名誉会員となる。

『喜之助人形』（1998年、竹田喜之助顕彰会）、『第六高等学校同窓会報』第10号（2011年）などより作成